

議会報告会報告書

開催日時	平成30年11月13日(火)午後7時00分～8時40分	
開催場所	松阪公民館第1講座室(松阪SCマーム内)	
出席議員	濱口高志、橘 大介、赤塚かおり、栗谷建一郎、 沖 和哉、坂口秀夫、久松倫生	
	司会進行者	久松倫生
	報告者	赤塚かおり
	記録者	栗谷建一郎
参加人数	20名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島 清晴 様

平成30年11月20日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第4班

代表者 濱口高志

【第一部 主な質疑・意見】

問 松阪市の決算審査において、決算書以外に何か資料等は執行部から提出されているのか。

答 決算書のほか、主要施策の成果及び実績報告書、監査委員の意見書、決算説明をもとに審査している。

問 明和町では、総合計画の前期と後期の5カ年等の数値目標をもとに、定数的な実績審査をしているが、松阪市はどうか？

答 松阪市では、部長政策宣言というものを決算の前にだして実施目標および実績評価も含め、決算審議の対象にして審議している。

問 ふるさと納税での市民税控除で歳入が減っているとのことだが、他の市町からふるさと納税をしてもらい、歳入を増やすための取り組みはしていないのか？

答 市税の歳入としては減っているが、ふるさと納税は増えている。松阪市としてもふるさと納税を獲得するための事業はおこなっており、返礼品として松阪牛等特産品などの展開をしている。

問 市の花、鳥、木などについて、市役所で聞いたことがある。特に、木についてはどうなのか？

答 クロマツと理解している。

意見 市役所の受付で聞いたら、マツなら何でもよいと言われ愕然とした。マツならクロマツ、鳥はウグイスなど、市の木や鳥をきちんと設定するべきだと思う。

答 合併の時に説明があったので記憶している。

問 市役所近くの旧三重信用金庫跡にできたポケットパークは、何のために、どんな利用をしているのか？トイレもなく、雨宿りためにだけであれば、もったいない。多額の経費がかかっていると聞く。ライオンも無意味だと考える。乗っても良いといわれるが階段もない。

答 貴重な意見だと感じる。議会でも、トイレ等も設置できないかと意見したが、諸々の理由で設置できないとの回答であった。

意見 1年間まったく同じものを展示していても仕方ない。子どもたちに松阪の好きなどころなどを描いてもらった絵を飾るなどして、子どもたちの郷土愛を育んでもらうような仕組みにしていきたい。ライオンの輸送費にも多額の経費が掛かったと聞く。非常にもったいない。

答 こういう意見があったこと伝える。トイレは討論があったが、都市計画でおけないということだった。

問 議会基本条例について。他市の取り組みとして、議会改革のひとつとし、通年議会という手法を取り入れる市町は増えてきた。松阪市で、通年議会を取り入れる考えはないか。

答 議会改革特別委員会でも常々議論に挙がるが、推進していくところまで成熟していない。

問 11回目の議会報告会ということだが、参加者の方々の人数が年々減ってきているという事例も少なくない。松阪市としてはどう考え、工夫しているか。

答 特効薬はない。毎年粘り強く開催していくしかない。また、議会広報誌として「みてんか」という議会だよりも改善してきた。また、土日の昼間、平日夜間等の開催時間の検討をしたり、決算の説明だけでなく、討論を前回は防災、今回は教育と工夫している。

意見 議員ひとりひとりが、それぞれの後援会や支持者の方々に動員を依頼したり、宣伝することも必要だと思う。プロスポーツのホームゲームでも、選手やチームは様々な活動をしているはず。

問 市の指定ゴミ袋について、なぜ有料なのか。ネーミングライツなどのように、企業協賛をとってゴミ袋の無料化などはできないのか？

答 ゴミ減量などの観点も含めて、ゴミ袋の無料化はしてきていない経緯がある。貴重な意見として承る。

問 中部台の蒸気機関車「くろすけ」について。当時の小学生の要望で当時の市長が国鉄から借り受けたSLだが、子どもの落下事故などもあり、松阪公園から中部台に移設された。アスベストの問題も含め、市民生活に影響はないのか、邪魔なものを中部台に押し付けたのではないか。建前でなく、議会と執行部と本音で議論すべきではないか。中部台の蒸気機関車「くろすけ」について議会としてはどう考えるか。

答 現在、台風被害の復旧について調査を進めていく段階であり、その経緯を待つ状況。各議員においてはそれぞれが様々な意見を持っている。まずは所管の文教経済委員会で本音で議論し、そこから議会全体に広げていくことになる。

問 新聞報道にあった、国保会計の補助金返還について。市民への報告が遅い。

答 会計検査院から政府への報告があり、その内容が全国的な報道機関に提供された。国保税の軽減措置の際、市に入ってくる分、国から交付金があるが、システムの設定の違いがあり、返還を求められている。まだ厚労省から具体的に連絡が来ていない。松阪市としては、現在、厚労省と返還の時期や方法を調整している段階であり、市民に余分なものを求めるものではない。補正予算での対応となる予定。環境福祉委員会のメンバーも、昨日今日聞いたところである。

第2部用【地域の中の学校づくりについて】

【主な質疑応答・意見等】

問 学校の特色を出す各学校間の交流を持つなど、議会が執行部に提案するなどやっていないか。

答 全市的にはしていない状況。一部地域では地域間交流として複数校での協働学習や連携をしているが、まだまだ拡大はできていないと思う。